

議会報告会要点記録

| | | |
|-----------|--------------------------|--|
| 開催日時 | 令和元年5月17日(金) 10:00~11:30 | |
| 場 所 | 生涯学習センター | |
| 出席議員 | 司会者 | 熊田 和人 神保 京子 |
| | あいさつ | (開会) 細田 勝治 議長 (閉会) 伊藤 奈穂子 副議長 |
| | 説明者 | (平成31年度予算審議) 熊田 和人 (委員会報告) 牧野 一仁 清水 豊司 田村 俊二 石井 勲 |
| | | 北村 正夫 瀬戸 和雄 曾根田 徹 清水 亜樹 田中 正彦 鈴木 磯美 |
| 記録者 | 曾根田 徹 | |
| 参加人数 | 18人 (女性12人:男性6人) | |
| 質疑・意見・提言等 | Q | 都市計画道路金子開成和田河原線施行ヤード用地買収費及び諸費用に記載されている年号が令和ではなく、平成で表している理由は。 |
| | A | 5月に年号が変わったばかりなので、間違いを防ぐためにそのままにした。 |
| | Q | 広報おおいはスーパー等で見かけるが、議会だよりも町民の目につくように、色々なお店に置いてほしい。 |
| | A | 全戸配布はしているが、色々な所で目につくのは必要だと考える。予算の関係もあるので、今後の検討課題としたい。 |
| | Q | ネット配信をされるとの事だが、SNSを利用して議会の報告、最新情報等で議会が身近に感じられるようにしてほしい。 |
| | A | ネット配信は予算上難しく断念した。今後は、予算を抑えたSNS発信を調査・研究して実施して行く考えである。 |
| | Q | 神奈川新聞に子育てのことが載っていた。子育てサポートおうママの会が議会に陳情を出し採択され町に提出をされているが、町も受けただけで、絵にかいた餅みたいだ。町民の目線に立つてほしい。昨年と比較しても子育てのことは実行されず変わっていない。議会も大変だと思うが、陳情の件もしっかりプッシュしてほしい。 |
| | A | 西大井でおうママの会が活動をしているのは知っている。陳情の内容は保健福祉センターの土日開放の件で、開放に向けての課題もあるが追跡はしていきたいと思っている。昨年12月に町長も変わったので、新たにプッシュしていきたい。 |
| | Q | 湘光中のグラウンド整備は、どのような内容で進んでいるのか。 |
| | | |

| | | |
|-----------|------|--|
| 質疑・意見・提言等 | A | グラウンド整備は今年度での予算化を見送り、猛暑への対応で空調設備設置工事を前倒しですることにした。土の入れ替えで約1億円ぐらいかかる。町長の公約に芝生化の考えがあるので、今後、確認をして行きたい。 |
| | Q | 議員の定数に関して調査研究、議員報酬・その他関連事項についてを、委員会で6回行ったとの事だが内容を教えてほしい。 |
| | A | 議長からの諮問を受けて、議会運営委員会で議論をした。内容は、資料の作成、定数、定数、議員報酬、政務活動費等の調査検討をしてきた。流れとしては、議長の諮問に対し答申を提出し、議長が答申の結果から議会での方向性を決めていく。 |
| | (意見) | 議会の透明性、情報公開について議会基本条例に書かれていることから、卓上配布のみの陳情も、どのような内容の物が出されたか町民にも分かる様にしてほしい。 |
| | Q | 今年3月、定例会で自治会担当制度について議員が質疑をしてから2か月が経過をしているが、議会での認識と進捗状況はどうなっているのか。 |
| | A | 具体的な内容までは認識していないが、5月20日の議会全員協議会で、詳しい内容が町執行部側から説明がされる予定である。何かしらの形で周知はされると思う。 |
| | Q | 具体的に決まったら、町民にはどの様に周知をされるのか。HPでと言われる方もいるが使えない方もいる。町民と密着した形での知れせ方もしてほしい。 |
| | A | 町の問題なので、発表の仕方は分からないが、HPだけでなく、広報や自治会長を通し報告がされるのではないかと考える。議会からもツールを使い発信出来れば良いと考えている。 |
| | | テーマ 「議員定数と報酬」について |
| | Q | 議員定数のことを知らない人もいる。増やすのか減らすのかも教えてもらわないと分からない。増やすことでのメリット、デメリットは何があるのか。議員を減らす時に奇数は良くないと言われた。2議席を減らした時のメリット、デメリットを含め、定数の決め方について教えてほしい。 |
| | A | 大井町と山北町は14議席、開成町、松田町、中井町は12議席である。大井町は各7名の議員により構成される3つの常任委員会があり。委員会で議案審査をする時に委員長を除く6名で審査をする上で、今より議員が減ってしまうと多様性がなくなってくる。議長は裁決に加わらないので、13名での審議だと同数割れがなく採決がしやすい。 |
| | (意見) | 議員の年収400万円以上で2議席を減らすと年間1,000万円以上減ると言うこと。子育て支援に回すべき。 |
| | Q | 議員の年間活動日は何日あるのか。 |
| | | |

| | | |
|-----------|---|--|
| 質疑・意見・提言等 | A | 毎月の活動日にはバラつきがある。議員個々人で、特に3月の予算審議、9月の決算審議の時は会期として2～3週間あるが、会期前に300ページ以上の予算書、決算書に目を通し調査や調べ事をして質疑を行っている。条例等の議案も同じである。解らないことを他の議員に聞く人もいれば、勉強会を開く人、グループでの勉強などを自宅や役場で行っている。業務として120日から150日はあると思う。 |
| | Q | 説明された定型業務以外の目に見えない業務の中で、町民とのコミュニケーション、時間とは定型業務と比較してどのくらいの比率があるのか。 |
| | A | 人によって接触時間、接触方法が違い、14人いれば14通りの方法があると思う。結果としては4年に1度の審判に反映する感じだと思う。 |
| | Q | 議会運営委員長が話していた多様性について、私もいろんな年代層の方が議論するのが議会の在り方だと思う。大井町議会は障がいを持っての方、子育て中の方もいるので様々な多様性の部分を網羅していると思うのですが、若い方が非常に少ない。若い人の意見を取入れるための、議会報告会は年に1回か2回で意見を言う機会があまりにも少ない。各自治会ごとで集まりやすい場所で報告会や意見交換会をする場所を設けてほしい。今日は多い方だと思うが、町民の一部分の意見を聞いただけで削減するのではなく、公聴会で意見を聞いて総合的な判断をしてこの時代では削減をする方向で決められるやり方が、議会でのやり方ではないのかと私は思うが、その方法について考えているか。 |
| | A | 議会報告会を開催するに当たり、色々な観点から決めている。自治会館での開催も大事だし、公共施設で駐車場等の環境整備が整った所も大事だと言う意見もある。会場は自治会館も1、2回は活用している。他の自治会も検討をしないといけない課題として受けとらせてもらう。議長の方針で報告会の充実があり、町民との意見交換会を多く設けたいので、今後検討をしていきたいと思う。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |